

ばばだけ！ 広島サンダース

久原 大輝

近年のバレーボールでは「サーブの強さ」が勝敗を大きく左右する。相手の弱点を突く戦術的サーブ、時速120キロを超すジャンプサーブなど、サーブの脅威は年々増し、いかにレセプションを安定させるかが勝敗の鍵を握る。

猫田記念体育館で練習を見学された方はご存じかもしれないが、サンダースは今季からその対策として、イタリア製の最新型サーブマシンを導入。世界選手権王者の強豪国が使用するモデルで、速度、

最新マシン サーブ再現

回転量、スピンの種類をワンタッチで設定できるハイテク機器だ。

右利きと左利きで異なる回

転方向も再現でき、無回転の揺れる軌道から高速スピンサーブまで、実戦さながらのボールを打ち出す。最高速度は120キロ以上。強烈な球に目を慣らすためには申し分ない性能を備えている。筆者も5

年前まで選手としてプレーしていたが「現役の時に欲しかった」と正直うらやましく思った。

強力なサーブが毎試合襲いかかる現代バレー。その最前線で、高木啓士郎、西村信の両リベロを中心に鉄壁のレセプションを築き、SVリーグの激戦を勝ち抜いていきな

い。(広島Tマネジャー)



サーブマシンを操作する高橋和也アナリスト (11日)